

いこま 市議会のうごき

もっと知ろう、いこまのこれから。

No.164

令和7年(2025年)

9月定例会

3月 6月 9月 12月



9月定例会 一般会計決算などを認定

第10回観光フォトコンテスト
生駒市観光協会賞「高山の秋の夜長」

INDEX

議案審議	P.2-5
一般質問	P.6-9
議会のうごき	P.10
会議の予定	P.11
議決結果	P.12

HPでも詳細をご覧ください。
<https://www.city.ikoma.lg.jp/gikai/>



9月定例会
議案審議

一般会計補正予算（第2回）を修正可決

令和7年度一般会計補正予算（第2回）のおもな内容

項目	補正額
学びの多様化学校等の整備に係る経費	1,665 万円
学校給食費無償化に係る経費（1カ月分）	4,047 万円
【債務負担行為】市営駐車場指定管理業務に係る経費	5 億 8,849 万円（限度額）
遺贈寄附金の教育環境整備基金および庁舎窓口環境整備基金への積立て	1 億 3,000 万円

9月定例会では、歳入歳出ともに、13億9444万2000円を追加する補正予算案が提案されました。

おもな内容は、令和9年4月に開校を目指す学びの多様化学校の整備などに係る経費、物価高騰にともなう学校給食費の無償化を実施するための経費ならびにベルテラスいこま自動車駐車場、生駒駅前南自動車駐車場および生駒駅北地下自動車駐車場の指定管理業務に係る債務負担行為の追加などです。

また、市内在住であった故人の方から受けた、遺贈寄附金を教育環境整備基金および庁舎窓口環境整備基金にそれぞれ積立てるものです。

なお、予算委員会では、事業の効果が未知数であることや、今後の事業費が把握できないことなどを理由に、地域コミュニティの活性化事業に係る経費4310万9000円および同事業に係る債務負担行為を削る修正案が提出され、修正案を賛成多数で可決するとともに、本会議においても賛成多数で修正案を可決しました。

原案賛成討論の論点

○本事業は、地域コミュニティにおける課題に対する取組で、地域コミュニティを再生し、防災、防犯、孤立阻止など、市民生活の安全を守るために必要なものであり、交付金を活用し、最小限の負担で実施が可能である。

○人口減少が進む中、共働き世帯の増加などにより希薄化した地域のつながりを再構築することは本市においても喫緊の課題であり、本事業は状況の改善に向けた種まきをするもので、将来への大きな成果につながる可能性があるものと考えている。

修正案賛成討論の論点

○市の課題意識は理解するものの、行政が自治に介入し、イベントを開催させても自治会の加入率に結びついていないことは実証済みである。効果も見込めず、住民と市職員双方の負担を増加させるだけの本事業予算を削除した修正案に賛成する。

※債務負担行為・・・予算は単年度で完結するのが原則だが、一つの事業や事務が単年で終了せずに後の年度においても費用負担をしなければならぬ場合、あらかじめ後の年度の債務を約束すること。

近鉄東生駒駅のバリアフリー環境整備事業に係る補正予算（第3回）を賛成多数で可決

9月定例会では、歳入歳出にそれぞれ300万円を追加するとともに債務負担行為を設定する補正予算案が追加提案されました。

内容は、近鉄東生駒駅構外に新たに整備される、エレベーターなどの設計や工事に要する経費ならびに供用開始後の維持管理・更新および補修に係る経費です。

予算委員会では、供用開始後の維持管理・更新および補修に係る債務負担行為について、具体的な期間および限度額が記載されていないことを理由に、修正案が提出されましたが、修正案を否決し、原案を賛成多数で可決するとともに、本会議でも原案を可決しました。

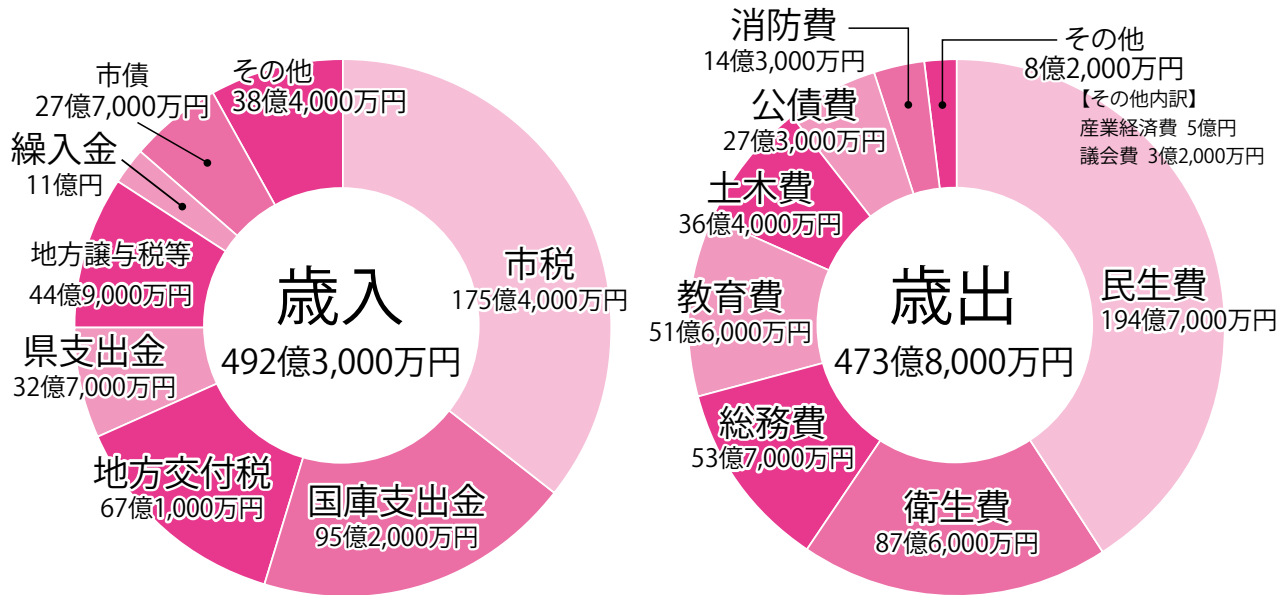
反対討論の論点

○市が設置費用や維持管理費、更新費用を一定負担せざるを得ないことは理解できるが、事業者との協定次第で、市が無期限に青天井で費用を負担することができてしまう文言記載のみで債務負担行為を設定することは、財政運営上、問題である。

令和6年度 決算を認定

令和6年度一般会計決算の構成

※ 1,000 万円単位に四捨五入して表示しています。



一般会計の実質収支は 15億3600万円の黒字

令和6年度一般会計決算は、歳入は492億3000万円、歳出は473億8400万円で、翌年度へ繰り越す財源3億1100万円を差し引いた実質収支は、15億3600万円の黒字となりました。

財政指標では、地方公共団体の財政構造の弾力性を示す経常収支比率は、給与改定などによる人件費や物価高騰の影響などで歳出が増加した一方、市税や普通交付税の増加などにより、前年度より2.2ポイント改善し、88.0%となりました。

公共施設整備基金、介護保険、国民健康保険、後期高齢者医療の4特別会計はいずれも黒字または収支均衡となりました。

反対討論の論点

○高山振興ワークショップ事業における委託事業者選考の手続きの問題だけをもって不認定に値するが、窓口DXの先進地視察に係る旅費精算、生活保護に係る事務についても改められるべきである。

○高山振興ワークショップ事業の実施

にあたっては、再委託に係る問題への意識・認識の甘さ、提出書類の確認不足、公平性に欠ける審査、再委託発覚後の対応など様々な問題がある。

○事業者との契約にあたって、市の公平性、公正性が損なわれかねない事業費用対効果が認められない事業、事業の趣旨や事業費の支出に疑問が残る事業が見受けられることから認めることはできない。

○高山振興ワークショップ事業については、プロポーザルによる審査結果や契約に関し疑問点があり、委託事業者が再委託事業者に業務の主たる部分を担わせていた可能性などがあるなどの問題があるため認められない。

議会費のおもな内訳

議会費の歳出は、3億2,071万円

一般会計の歳出のうち、0.7%が議会費の割合となります。

- 議員報酬・期末手当 (22人) 1億8,975万円
- 政務活動費 (月額3万円) 348万円
※執行率 44.2%
- いこま市議会のうごきの作成 (年4回) 271万円
- 本会議・委員会会議録の作成および
会議録検索システムの運用に係る経費 1,103万円
(※万円単位に四捨五入し、表示しています。)

高山振興ワークショップ 事業に係る事務を調査する 特別委員会の設置を賛成 少数で否決

この議案は、決算審査特別委員会における、高山振興ワークショップ事業に対する質疑をふまえ、当該事業に関する事務を調査することを目的とし、地方自治法第100条の権限を有する特別委員会を設置するため、議員から提出されたものです。

賛成討論の論点

○本議案は、議会の責任として疑惑を放置せず、真実を明らかにすることを目的とするものであり、中抜きによって無駄な税金が使われている可能性があることや、不適切な業務委託などについて、市民に説明ができるよう最後まで調査を行い、疑惑を明らかにすることで、議員の責務を全うするため、本議案に賛成する。

反対討論の論点

○様々な調査を尽くしたうえで、疑義が晴れない場合に百条委員会を設置するのが筋であり、慎重な手続きを経ず百条委員会を設置することは、行政および議会への信頼を損ねるおそれがある。

また、過去の事例と比較しても、百条委員会を設置するほど重大な事案ではないと考える。

※百条委員会・・・地方自治法第100条の規定に基づき、地方公共団体の事務に関する調査を行うことができる委員会。

関係人に対し、出頭、証言、記録の提出を請求することができ、これらを正当な理由なく拒否した場合や、虚偽の陳述を行った場合には、罰則規定があり、強い調査権限を有する。

下水道使用料などの改定を 全会一致で可決

この議案は、本市の下水道事業について、経費回収率が県内他市や類似団体の平均値と比べて大幅に低く、一般会計からの繰出金に依存した経営状況が固定化されていることから、抜本的な改善を図るため、生駒市下水道事業経営審議会の審議をふまえ、下水道使用料などを改定するものです。

改定内容としては、使用料単価が値上げされるほか、使用量の有無にかかわらず、基本使用料が賦課されることとなり、令和8年4月1日から改定されるものです。

◎改定後の下水道使用料

(税抜)

使用料区分	排水区分	一般排水		中間排水	特定排水
		公衆浴場	その他		
水量使用料 (污水排出量1立方メートルにつき)		53円	106円	180円	253円

改定後

(税抜)

使用料区分	排水区分	一般排水		中間排水	特定排水
		公衆浴場	その他		
水量使用料 (污水排出量1立方メートルにつき)		60円	120円	204円	286円
基本使用料 (1月につき)		150円			

人事案件3件を議決

人事案件3件が提案され、同意および適任と認めることを議決しました。

○人権擁護委員
石田浩さん

○法令遵守委員会委員
渡邊賢さん 八木正雄さん

松本浩志さん

○病院事業推進委員会委員
友岡俊夫さん 米澤泰司さん

遠藤清さん 有山武志さん

佐伯圭吾さん 真島初実さん

河野千尋さん 岩野未奈さん

伊木まり子議員 金田和彦消防長



今年6月に開院10周年を迎えた生駒市立病院



令和8年3月31日に廃止されるRAKU-RAKUはうす

RAKU-RAKUはうすの 廃止条例を全会一致で可決

この議案は、RAKU-RAKUはうすの利用者数が新型コロナウイルスまん延以前の状況まで回復しておらず、費用対効果が悪化しているとともに、生駒駅周辺の教育・福祉機能を再配置することにもない、指定管理期間が終了する令和8年3月31日をもってRAKU-RAKUはうすを廃止するものです。

なお、RAKU-RAKUはうすは廃止されますが、社会福祉協議会の自主事業として、同じ趣旨の多世代交流事業が実施される予定です。

表彰状が贈られました

奈良県市議会議長会から、正副議長を4年務められた功績により、吉村善明議員に対して表彰状が贈られるとともに、市議会議員として10年間、市政の発展に尽くされた功績により、片山誠也議長、改正大祐議員および神山さとし議員に対して表彰状が贈られ、本会議において、表彰状の伝達および報告が行われました。



神山さとし議員



改正大祐議員



片山誠也議長



吉村善明議員

議会改革特別委員会の審査が 進められています

議会改革特別委員会は、議会改革に関することについて調査することを目的に、令和5年9月に設置されました。委員会では、議員・会派から提案された議会の運営における改善点や議会基本条例の見直しなどに関する検証事項について、審査しています。

ご興味のある方は、委員会の傍聴のほか、ライブ中継や録画配信もしていますので、ご覧ください。

現在検証中の事項

- 本会議の活性化
- 議会基本条例第7条「パブリックコメント」

委員会の調査報告

経済建設委員会

○生駒市清掃センターでの平群町および斑鳩町の燃えるごみ受入れについて
本市清掃センターにおいて、令和8年4月から両町からの燃えるごみの受入れが開始されることや受入れにあたっての両町との協議内容について報告を受け、質疑を行いました。

厚生文教委員会

○令和6年度生駒市立病院実施状況調査報告書について

生駒市立病院の事業に係る令和6年度の実施状況の評価や課題などを取りまとめた実施状況の調査結果について報告を受け、質疑を行いました。

○交通費等助成制度（生きいきクーポン券交付事業）の見直しについて

生きいきクーポン券の交付事業について、事務的経費の増大や事業目的としての事業の見直しを行うことから、見直しの内容について説明を受けるとともに意見募集を実施することについて報告を受け、質疑を行いました。



令和10年度から制度の内容が変わります

＼ここが知りたい！／

本会議の一般質問

9月
2日～4日
定例会

掲載以外の質問内容もありますので、
ホームページや後日発行の会議録をご覧ください。
二次元コードを読み取っていただくと、各議員の一般質問の動画をご覧いただけます。

質問者数 **13** 人

生駒南小・中学校の整備事業
について



竹内ひろみ議員（日本共産党）

問 生駒南小・中学校整備事業に係る設計業務受託事業者の選定ポイントとして「地域の実状を丁寧に読み取っている」が挙げられている。

しかし、事業者から提案された外観イメージ図は、地域の実状とかい離しているように思うがどうか。

答 ご指摘の外観イメージ図については、あくまでイメージであり、周辺まで細かく表したものではありません。事業者は第3次生駒市教育大綱などの趣旨や内容および現地調査の結果をふまえて提案されていると考えている。

問 受託事業者は、デザイン面で高評価を得ているが、学校施設は、機能性を重視するべきではないか。

答 外観については、デザイン面だけではなく、機能性も重視した提案であったと考えている。

問 基本設計の素案段階から、学校関係者や保護者などの意見を聞く必要があると考えるがどうか。

答 ワークショップなどの意見聴取の場を設け、基本設計の素案をたたき台として、教職員、児童、保護者や地域の方々など、様々な立場の方に意見をいただき、多様な観点から検討し、設計へ反映していきたい。

狭あい道路の解消について



成田智樹議員（生駒市議会公明党）

問 狭あい道路は、発災時に緊急車両が侵入できないなど、防災・安全上の観点からも解消が求められるが、本市の幅員4.5m未満の狭あい道路の総延長距離は。

また、最近9年間で、どの程度解消できたのか。

答 国の集計区分に基づく幅員3.5m未満の道路で、総延長距離は約227キロである。

また、狭あい道路の解消については、土地所有者の協力により、建物の建て替え時のセットバックなどにもなう土地の寄付件数が順調に増加しており、6路線700m程度の道路拡幅事業を行ってきた。

問 他の自治体では、国の交付金を活用して市民負担の軽減などを図り、拡幅整備事業を進めているところもあるが、本市の取組は。

答 国の交付金は、狭あい道路解消を促進するための方策として認識しているが、セットバックなどの寄付の案件は年々増加し、市民の所有地に関する公共的な意識はかなり持っていたと感じている。市による土地の取得や固定資産税の優遇、国への要望なども検討するとともに、先進自治体の事例も調査しながら取り組んでいきたい。

小規模校および保護者が負担する義務教育に係る費用（学校徴収金）の在り方について



神山さとし議員（無会派）

問 小規模校は児童・生徒数を増やすため、特別な特色づくりを備えるべきではないか。

また、対策としてスクールバスの導入は検討したのか。

答 そのとおりである。地域、教職員などが一緒になり、特色ある取組を考え進めていきたい。

また、スクールバスの導入は、施設再編と併せて検討する必要があると考えている。

問 保護者の費用負担を抑えるため、小規模校の修学旅行などは行先や移動手段が制限され、看護師の手配ができず、他校と平等な教育が不可能である。市はこの教育格差や不平等を把握しているか。

この状況は、市の教育大綱に反しているとともに、憲法の規定「教育の機会均等」を保障できていない。保護者の費用負担が平等になるように公費で平等な教育活動を保障すべきではないか。

答 学校長などに聞き取りを行い、実状を把握したいと考えている。経済的な援助が必要な家庭には就学援助制度にて対応しているが、制度について更に周知していきたい。



赤ちゃん和家人の笑顔があふれるまちを

赤ちゃんとその家族にやさしいまちづくりについて



山下一哉議員(生駒市議会(公明党))

問 保育施設への登園時に必要なおむつへの名前記入や持参など、保護者や保育士の負担軽減のために、「おむつのサブスクリプションサービス(定額制)」導入を検討できないか。

答 来年度からの導入に向け、現在準備を進めている。

問 「赤ちゃんの駅」に設置されている授乳室は、搾乳の利用も可能であることを明確にすべきではないか。

答 授乳可能な施設は搾乳の利用も可能なことから、搾乳可能なことを表示したステッカーに貼り替えるとともに、ホームページなどで周知し、施設の設置者にも説明を行いたい。

問 ホームページに掲載されている「赤ちゃんの駅」の情報について、検索機能の向上を図るため、現状のPDF形式からエクセル形式への掲載方法の変更や、民間アプリとの連携を進めるべきではないか。

答 授乳可能な施設については、エクセル形式の表を使用して検索できるようにすることは可能である。授乳室のある施設を検索できる民間のアプリがすでにあることから、民間の力も活用し、市が持っているデータはオープンデータのサイトに掲載し利用してもらえようにつりたい。

地域手当と人材確保の考え方は



改正大祐議員(絆)

問 保育士確保での課題は、近隣自治体との給与格差であるが、給与のどの部分が格差なのか。

答 自治体により手当などが異なるため、一概に比較は難しいが、基本給と地域手当の差はあると考えている。

問 新聞では、保育士が地域手当の高い保育所を選ぶ傾向があるのにとだが、本市ではどうか。

答 すべての把握はできていないが、やはり給与の高い方へ行きたいというところで、辞退される方が一定数おられる状況である。

問 本市は地域手当の引下げを行つたが、据置きや上乗せの自治体がある中、地域手当をどう考えるのか。

答 地域手当は人事院勧告に沿って引き下げたが、周辺他市や大阪市との格差は正については、国へ要望もしている。今後も国の動向を注視しながら進めるとともに、採用に関しては、本市の取組やビジョンに共感して多くの方に受験いただいているので、地域手当だけでなく他の取組も併せていきながら、人材確保をしっかりやっていきたい。

他の項目

●広聴活動の充実

持続可能なボランティア活動について



福中真美議員(いこま未来の会)

問 ボランティア活動は、市民の自発的な意思に基づき、時間と労力を提供する重要な社会貢献活動である。現在、一部でボランティアを予算削減の手段ととらえる考え方があるが、「ボランティア活動にも予算は必要であり、共に社会をより良くしていく」という意識を浸透させることが重要である。

答 すでに健康ポイント制度を導入している先行自治体などの調査を開始し、健康アプリの導入に向けた検討を進めている。今後は、ボランティアポイントの導入も検討し、健康増進や介護予防の分野で連携を図りながら、現在運用を始めている地域ポイントの利活用も含めて、引き続き制度の検討を進めていきたい。

問 交通費などの実費支給に関する見解は。

答 交通手段や費用が活動ごとに異なる中で、活動実績に応じてポイントを付与するなど、換金性のあるポイント制度を導入することにより、柔軟かつ公平に対応できる仕組みとなるよう検討を進めている。



自然と共生する未来へ

学研高山地区第2工区の開発における環境への対応について

浜田佳資議員（日本共産党）



問 生駒市の魅力は、大阪への利便性とともに、自然環境の豊かさにあるが、希少種が生息する第2工区の開発について、自然環境の破壊のおそれが指摘されている。

答 自然環境の保全、人と自然の共生についての基本認識はどうか。

答 本市は身近に自然を感じられる豊かな暮らしができるまちとして発展してきた。本市の魅力である豊かな自然を保全・活用し、次世代に引き継ぐことにより、その恵みを享受できると考えており、人と自然が共生するまちを築いていきたいと考える。

問 第2工区の開発の自然環境影響評価調査はどう実施するか。

答 第2工区全体を一度に開発するのではなく、段階的な開発となることから、各個別開発地区ごとに事業の進捗状況を見ながら環境調査を行うっていく考えである。

問 調査をふまえ、開発計画の変更はあり得るか。

答 今年度は、南エリアを調査する予定である。調査結果を見ないと現時点では判断できないが、調査の結果次第では、南エリアの計画を変更することもあり得るものと考えている。

がん対策について

恵比須幹大議員（生駒市議会公明党）



問 がん検診の受診率向上に向けた取り組みは。

答 短期的には、受診券の発送対象者の拡大やオンライン申請の利便性向上などに取り組んでいる。

問 LINEを活用したがん検診の申込みについての検討は。

答 受診勧奨の方法としてLINEを活用することは、非常に有効であると考えているため、現在検討中である。

問 令和6年度において、子宮頸がんワクチン（HPVワクチン）の供給が滞った時期があったが、現在の状況は。

答 需要の大幅な増加により、一時的にワクチンが限定出荷されていたが、現在は問題なく供給されている。

問 また、昨年度の状況をふまえ、接種できなかった希望者への対応として、キャッチアップ接種の期間を1年間延長している。

他の項目

●廃食用油（使用済み食用油）の回収および有効活用について

災害級酷暑での子どもの命を守る熱中症対策について

辰巳綾子議員（日本維新の会）



問 過去2年と比較した今夏における熱中症の救急搬送の傾向や特徴は。

答 本市の6月は、過去2年間の2から3倍の真夏日が観測され、全国の熱中症の救急搬送件数は、過去最多を記録し、本市においても増加が見込まれる。

問 188人が回答したシールアンケートで、48%の児童が下校時に水筒が空であると答えている状況をどう受け止めるのか。

答 家との距離や荷物を軽くするために飲み干して帰宅するなど、児童によって状況が異なる。必要に応じて水の補給をするよう、引き続き声かけや指導を行っていききたい。

問 猛暑対策として、2学期を9月開始とすることについての考えは。

答 8月最終週については、熱中症予防で最も気温が高くなる時間の下校を避け、半日授業としている。開始時期については、年間指導時間数などを総合的に判断する必要がある。

問 現在は9月から提供されている給食の開始時期を早める検討は。

答 下校前に給食を食べ、水分や塩分を補給することは、熱中症予防につながると考えることから、来年度以降、検討していきたい。

排外主義への市の対応は

塩見牧子議員（無会派）



問 奈良先端科学技術大学院大学の研究者や留学生など、市内には外国にルーツを持つ方が多く居住、通勤、通学している。今夏の参議院議員選挙では公党党首による外国人差別をおおる発言が拡散され、排斥の風潮が強まっているが、市はこの現状にどのような問題意識を持っているか。

答 市内に住む外国人住民が安心して生活できる環境を整備することが重要であり、憂慮すべき事態の中ではこれまで以上に多文化共生を推進していく必要があると考えている。

問 参議院議員選挙直後に開催された全国知事会議の青森宣言では「排他主義、排外主義を否定し、多文化共生を目指す」との文言が入れられたが、市としては、外国人差別に対する明確な姿勢を表明しないのか。

答 生駒市国際化基本指針のもとに現在の社会情勢に合った施策を進めているが、この指針は平成8年に策定したもので、改定していくべきものと考えている。

また、人権擁護に関する条例の改定作業も進めているので、何らかの形で姿勢を表明していきたい。

他の項目

● 紙おむつごみの再資源化について

ごみの収集方法について

梶井恵子議員（無会派）



問 プラスチックごみやペットボトルの分別が進み、収集日に資源ごみがあふれかえっているような集積所が散見される。

また、資源ごみの集積所が遠いとされる箇所についても、集積所の増設の対応は可能か。

答 集積所の設置基準の見直しは想定していないが、運用にあたっては、道路状況など地域の実状をふまえ、柔軟に対応している。

問 市民や自治会の負担がないよう、クラス除けネットと同様に、ごみボックスを貸与することについて、市の考えは。

答 地域や設置場所により、必要とされる形態などが異なってくることから、一律で市が購入して貸与する仕組みは現時点では難しいと考える。

問 在宅介護が増える中で、おむつのごみも増えている。

まごころ収集は現在週1回の収集だが、衛生面や運ぶ労力を考慮し、回数を増やすことは検討できるか。

答 収集回数を増やすことについては、コストの増加につながるから現時点で直ちに対応することは難しいが、ごみ出しが困難な高齢者へのサービス拡充の施策については、引き続き検討していきたい。

高齢者を取り巻く現状と健康寿命の延伸について

芦谷真治議員（日本維新の会）



問 2042年に高齢化のピークを迎えるにあたり、健康寿命延伸に向けての今後の課題と取組は。

答 要支援、要介護認定者の増加が見込まれ、高齢者を支え合う地域づくりが必要となる一方で、専門職の介護人材不足や支え合い活動の担い手となるボランティア不足が顕著になると考える。今後は、多様な主体による生活支援の提供体制構築や支え合い活動の担い手となる有償ボランティアの確保、ボランティアポイント制度の検討を行っていくほか、終活支援事業も検討したい。

問 高齢者の学びと交流の場であるいこま寿大学の入学者数が減少していることに関して市の考えは。

答 60歳を過ぎても現役で働く方が増えていることや学びや趣味のつながりの機会がいこま寿大学以外にも増加し、高齢者の選択肢が増えていることが背景にあると考えている。

問 いこま寿大学の入学者募集や広報全般において、SNSなども活用し、広範囲に広報活動してはどうか。

答 多くの方に知っていただくことは大切であるが、カリキュラム、活動内容、やりがいなどの内容をきちんと伝えられる手法を検討したい。

都市計画道路の整備と維持管理について

橋本宏淳議員（絆）



問 都市計画道路における交通渋滞の解消が必要な交差点や路線は。

答 東生駒2丁目交差点から富雄インターチェンジ東交差点に向かう間の大阪枚岡奈良線、阪奈道路生駒インターチェンジ付近を通過する生駒停車場宛木線、北田原大橋交差点や鹿畑町交差点を通過する国道163号線および小瀬町南交差点を通過する国道168号線などである。

問 渋滞緩和や交通安全対策の推進に向けた市の取組は。

答 都市計画道路の整備が非常に重要であり、事業の優先度や必要性を検証し、着実に整備に取り組みたい。

また、国道163号バイパスの整備などの国や県の事業を推進するため積極的な事業協力を行っている。

問 都市計画道路に接する民有地の樹木の倒木などの問題について市の見解は。

答 民地にある樹木は土地所有者の財産で維持管理責任は所有者にあるが、倒木で通行障害が発生する場合などは市が必要に応じて対応を行っている。市民からの通報や道路パトロールで危険箇所を早期に把握するとともに、所有者に適切な管理を依頼し、事故の未然防止に努めたい。

議会のうごき

9月												8月			7月								
30日	29日	25日	24日	22日	17日	16日	12日	11日	10日	4日	3日	2日	28日	22日	18日	8日	24日						
予算委員会	9月定例会本会議	全員協議会	議案説明会	議会運営委員会	決算審査特別委員会	決算審査特別委員会	議案説明会	議案説明会（決算）	予算委員会	企画総務委員会	予算委員会	厚生文教委員会	予算委員会	経済建設委員会	9月定例会本会議	議案説明会	9月定例会本会議	9月定例会本会議	議案説明会	議会運営委員会	議会改革特別委員会	議会改革特別委員会	議会改革特別委員会

議会の傍聴にお越しください

11月	10月
7日	6日
災害対策委員会	9月定例会本会議
議会運営委員会	議会運営委員会
議案説明会	全員協議会
全員協議会	広報広聴委員会
広報広聴委員会	厚生文教委員会
広報広聴委員会	広報広聴委員会

市議会の活動状況を知るために、本会議・常任委員会・議会運営委員会・特別委員会・広報広聴委員会・災害対策委員会・議案説明会および全員協議会を傍聴することができます。議員の活動などを知る良い機会ですので、ぜひお越しください。

また、インターネットでライブ中継を実施しています。市議会のホームページから、ライブ中継や過去の会議の録画映像をご覧いただくことができますので、ぜひそちらもご利用ください。

ライブ中継▼



過去の録画配信▼



絵画を展示しています

生駒市議会では、開かれた議会の取組の一環として、市洋画協会および市日本画協会のご協力をいただき、両会員の絵画を市役所5階議場ロビーに展示しております。

みなさまから、気軽に芸術作品に触れることができ心が和むなど、大変ご好評をいただいております。

どうぞお気軽にお立ち寄りください。



議場ロビーで
アートのひとときを



小学生のみなさんが

「議会見学」に来てくれました

8月18日に「いこまって集まれ！～議員を見学しよう～」と題した「こども応援くらぶ Miraizu」様主催の議会見学に協力させていただきました。

当日は、小学3～6年生のみなさんにご参加いただき、議会クイズや議事堂の見学など、市議会議員との交流を通して、市議会や議員の仕事について学んでいただく機会となりました。

議場では、議長席に座ったり、電子表決システムで賛成ボタンを押してみるなど、普段は出来ない体験をしていただきました。

今回の議会見学を通して、市議会をより身近に感じていただけたなら幸いです。



12月定例会の会議の予定

12月3日(水) 10時	本会議
4日(木) 10時	本会議
5日(金) 10時	本会議
8日(月) 10時	本会議
11日(木) 10時	経済建設委員会 予算委員会
12日(金) 10時	厚生文教委員会 予算委員会
15日(月) 10時	企画総務委員会 予算委員会
17日(水) 10時	予算委員会
22日(月) 10時	本会議

来年度の3月定例会までの日程は、生駒市議会公式ホームページに掲載しています。

予定は変更する場合がありますので、市議会のホームページをご覧ください。また、議会事務局までお電話で（74-1111 内線5061）お確かめください。

傍聴を希望される方は、市役所5階の受付で傍聴受付票に住所・氏名をご記入いただくだけで傍聴することができます。

これからの会議▼



「いこま市議会のうごき No.163」アンケート結果

「いこま市議会のうごき No.163」で実施したアンケートの結果（一部）をお知らせいたします。

【問】「いこま市議会のうごき」にどのような内容や工夫があれば良いと思いますか。（複数回答可）

回答選択肢	回答数
A 市民の声（市民からの意見や提案の紹介）	10件
B 議員の日常活動や横顔の紹介	6件
C 若者向けのコーナー（高校生や大学生の声など）	0件
D 議案や政策の要点を簡潔に解説	5件
E 写真や図を使ったわかりやすい紙面	5件
F 読みやすい文字サイズ・色使い・レイアウト	1件
G 現状で良い	1件
総回答数	28件

※ 詳細は市議会のホームページをご覧ください。

マチイロのご案内

「いこま市議会のうごき」をより多くの方に届ける情報発信方法として、スマートフォンおよびタブレットで「生駒市議会」の「マチイロ」を閲覧いただける「マチイロ」を利用した配信を始めました。

導入方法

- ① アプリをインストール
- ② 性別・生年月日を入力し、居住地に「生駒市」を選んで設定完了です。
- ③ 自動的に最新号を配信します。

インストールはこちら▼



「いこま市議会のうごき」アンケート

今後の参考にさせていただくため、アンケートにご協力をお願いします。

回答方法 締切：12月15日(月)

【インターネット】 <https://www.city.ikoma.lg.jp/gikai/0000034099.html>

【FAX】 0743-74-9481

【郵便】 〒630-0288 生駒市東新町8番38号 議会事務局あて



※郵便の場合は、下のアンケートに記入のうえ切り取っていただき、はがきに貼り付けるか、封筒に入れて郵送してください。

「いこま市議会のうごき No.164」質問項目と回答

問1 年代をお伺いします。

- A 18歳未満 B 18～39歳 C 40～64歳
D 65～79歳 E 80歳以上

問2 「いこま市議会のうごき」で関心のある記事は何か。（複数回答可）

- A 審議したおもな議案
B 一般質問
C 議決結果賛否一覧
D その他（ ）

問3 「いこま市議会のうごき」について、ご意見・ご要望や読んでみたい記事などがあればご自由にお書きください。

編集後記

9月定例会は、10月6日まで35日間の開催となりました。本会議の始まりは猛暑真っ只中、閉会時には、すっかり秋の季節に。東生駒駅にエレベーターを設置する補正予算が追加提案され、会期を延長して審査し、可決されました。これからも質疑を行い、より良い市政になるように努めますので、ご意見、ご要望など市議会へ是非お寄せください。

令和7年9月定例会の議決結果

賛否が分かれた議案名	議決結果	共産党		公明党		維新		絆					未来	無	無	無	無	無	無	無	無	無	
		浜田 佳資	竹内 ひろみ	恵比須 幹夫	成田 智樹	山下 一哉	芦谷 真治	辰巳 綾子	白本 和久	吉村 善明	片山 誠也	改正 大祐	森 雄亮	橋本 宏淳	福中 眞美	伊木 まり子	塩見 牧子	神山 さとし	加藤 裕美	中嶋 宏明	中尾 節子	梶井 憲子	高杉 千代子
生駒市地区計画区域内建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	
令和7年度生駒市一般会計補正予算(第2回)(委員会修正案)	修正可決	△	△	▲	▲	▲	△	△	△	△	—	△	△	△	△	▲	△	△	△	△	△	▲	△
令和6年度生駒市一般会計決算の認定について	認定	●	●	○	○	○	●	●	○	○	—	○	○	○	●	○	●	●	●	○	○	○	●
令和7年度生駒市一般会計補正予算(第3回)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
高山振興ワークショップ事業に係る事務を調査する特別委員会の設置について	否決	○	○	●	●	●	○	○	●	●	—	●	●	●	○	●	○	○	○	●	●	●	○

◎議長(片山誠也)は、議決に加わらないため、「—」と表示しています。

◎会派名: 共産党(日本共産党)、公明党(生駒市議会公明党)、維新(日本維新の会)、未来(いこま未来の会)、無(無会派)

○=原案賛成 ●=原案反対
△=修正案賛成 ▲=修正案反対

全会一致で原案可決・承認・同意・了承・適任とした議案

- ・市長専決処分の報告について(損害賠償の額の決定について)
- ・市長専決処分の報告について(損害賠償の額の決定及び和解について)
- ・市長専決処分の報告について(損害賠償の額の決定及び和解について)
- ・令和6年度決算に基づく生駒市健全化判断比率の報告について
- ・令和6年度決算に基づく生駒市資金不足比率の報告について
- ・令和7年度生駒市介護保険特別会計補正予算(第1回)
- ・生駒市選挙公営に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・生駒市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び生駒市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
- ・篤志寄附基金条例の一部を改正する条例の制定について
- ・生駒市企業版ふるさと納税基金条例の制定について
- ・生駒市特別会計設置条例を廃止する条例の制定について
- ・RAKU-RAKUはうす条例を廃止する条例の制定について
- ・生駒市下水道条例の一部を改正する条例の制定について
- ・生駒市法令遵守委員会委員の委嘱について
- ・生駒市病院事業推進委員会委員の委嘱及び任命について
- ・令和6年度生駒市公共施設整備基金特別会計決算の認定について
- ・令和6年度生駒市介護保険特別会計決算の認定について
- ・令和6年度生駒市国民健康保険特別会計決算の認定について
- ・令和6年度生駒市後期高齢者医療特別会計決算の認定について
- ・令和6年度生駒市水道事業会計決算の認定について
- ・令和6年度生駒市下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について
- ・令和6年度生駒市病院事業会計決算の認定について
- ・財産の取得について
- ・人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて